

## 村の人口

49. 9. 30現在	
人口	男 2,311
	女 2,401
	計 4,712
世帯数	993

S 49. 10. 15



## 蓬田中学校新築落成す

### 理想的な教育の殿堂

蓬田教育村の名声は、明治、大正、昭和にかけて県下で周知のとてありますが、教育の近代化を進めるため、挙村一致で蓬田中学校の新築を十有五月の日数を費やして昭和四十九年八月十七日竣工落成の式典を挙行いたしました。

旧蓬田中学校は昭和二十五年九月に建築され、二十五年、数多くの人材を送り出しました。

先輩・そして在校生達におしまながら、とりこわされる運命になりました。

新校舎の特徴は、教育機器（語学演習装置、音楽演習装置、スタジオ、放送設備、ビデオ装置）をセットし、生徒の学習の近代化を図った点にあります。

また生徒の精神修養のために茶華道室、手毬に書を楽しむ図書室、そして美術室など、いたれりつくせりの近代校舎です。

総工事費、校舎一億三千万円。

体育館五千八百万円。鉄骨づくり

校地面積 二〇、三〇八平米。

校舎面積 二、七五一平米。

体育館 一、三二五平米

# 写真で紹介する

(体  
育  
館)



(普通教室) →



(M L 教室)



(L L 教室) ↓



# 新 校 舎



(廊 下)

# 第一回文化財展示会

蓬田中学校の新築落成を記念して、蓬田村の文化財を村民に紹介しました。

文化財は、生活文化財と、美術品に分かれ、生活文化財は村民の協力により数百点も集積することができました。

芸術品は、貴重な作品ばかりで、閲覧者の目を十分楽しませてくれました。



右二枚の写真は田中吉兵衛氏の北海道積丹の鯨御殿の写真で、現在小樽市の文化財となっています。中央の額は傘松観音蔵の棟方一志功兄弟の合作のもので貴重なものです。左は二幅とも棟方志功氏の作品で、中沢公民館・坂本千代松氏蔵のものです。



田中吉兵衛氏蔵の野沢如洋作。

右端の日本刀は蓬田住の二唐国吉氏の作。

中央の屏風と左端の額は田中吉兵衛氏蔵の野沢如洋氏作の小品です。



左端の仏像は円空作のもので泉重宝指定で正伝院蔵のもの。左端より二番目の仏像は玉松台の遺霊塔の観音で棟方一氏の作で、木部は黒溝台の柳で元村長坂本種一氏が渡満の際持参したものです。その他吉田清光氏蔵の仏像と正伝院蔵の仏像です。中央光背のある仏像は高坂常雄氏蔵寂導師作のものです。



# “自覚と決意を新たに”



## 成人のことば



越田 希悦

この世に生をうけて、まだ何ひとつ社会の為になっていない私達ですが、これからは法律的にも社会的にも一人前の人間として貴重な権利と義務が与えられましたと同時に独立した個人として生活し我が国を背負って立つて行くにふさわしい人になると云うことを心にきざみ、村民としての誇りと自覚をもって、これからの社会の荒波に向って常に若者らしく正義を貫く闘志と苦難に耐える気力を旺盛にもって、ゆたかな教養と身体を鍛練し、自主性を確立し、これらいろいろの要素をもって新しい世界を創り出す原動力となる覚悟です。

これからは私達一人がたがいに手をとりあって、村民憲章にもあるように、明るい、ゆたかな、住みよい村をつくり、よき日本人と

なりたいと思えます。  
成人の日に当り感じたことをのべて成人のことばとします。

## 謝 辞



小松 恵美子

本日成人式を挙行され、私達成人への門出を祝福下さいましたことは感謝にたえません。

私達は村長様はじめご来賓の方々の意義深いかずかずのご訓辞をしっかりと胸に誓い、きょうからは、自己の人格完成へ努力するとともに、社会の繁栄と向上に努力し、真の民主的日本人となるべく努力することをお誓いいたします。

これをもって感謝の辞といたします。

## 村民体育大会



村民の健康と融和を旗印に毎年開催されている、恒例の村民体育大会は今年もさわやかな晴天の下に、総合グラウンドで盛大に行なわれました。

今年は総合優勝を廃止し競技別にトロフィーをもうけたところ、各部落とも一つでもトロフィーを勝ちとろうと大奮闘しました。

その結果蓬田部落と長科部落が二個づつ分け合い他の部落を振りきりました。

- 村長杯、綱引き、蓬田部落
- 議長杯、玉入れ、 ” ”
- 教育長杯、部落対抗リレー
- 公民館長杯 子ども会リレー
- 長科部落
- 長科部落

### 蓬田村体協よりお知らせ

体協ではただいま部員を募集しています。いずれかの部に入って日頃の運動不足を解消しよう。

野球部・陸上競技部・バトミントン部・バレーボール部・柔道部  
剣道部・相撲部・卓球部



# 県民体育大会

# 国民年金シリーズ

## 村の部・総合第5位



- 女子バレーボール 準優勝
- 卓球 三位
- 陸上競技 男子百米 三位
- 工藤由光 三位
- 男子五千米 五位
- 木村修 五位

百米第三位 工藤由光選手



八月二十四日。二十五日弘前市を中心に開催された県民体育大会は本村選手団の日頃の練習の成果が十二分に発揮され村の部総合第五位に入賞する大健闘をしました。

保障されます

：こんな時、これだけの年金が受けられます：

年金の額は四十九年九月ス

ライド実施後の額

☆歳をとってから安定したく

らしのために（二十五納付）

老令年金

五年年金 月九、二八八円

十年年金 月一四、一五二円

二五年納付 月二三、二二〇円

☆疾病や交通事故などで思わぬ不幸にあったとき

障害年金

一級 月二九、〇二五円

二級 月二三、二二〇円

☆夫に死なれた妻で十八才未満の子がある人

母子年金

月二三、二二〇円

その他状態に応じて、準母子年金 寡婦年金、遺児年金、死亡一時金

等各種の年金が受けられます。

現在、厚生年金や国民年金から

年金を受けている人は全国で二百八十万人にのぼっていますが、これからもドンドン増えて行き、昭和六十年には、約千百万人の方達が年金を受けるようになると見込まれています。



(物価スライドによる率)

「国民年金はこんなに有利です」

★納める保険料と受ける年金の一例

(保険料は50年1月、年金の額は49年9月物価スライド実施後の額)

年金の種類	納める定額 保険料の額	受ける年金の額		
		1年間に受ける年金の額	10年間に受ける年金の額	20年間に受ける年金の額
老令年金	(25年間皆納で) 330,000円	338,640円	3,386,400円	6,772,800円
障害年金	(1年間皆納で) 13,200円	1級 348,300円	3,483,000円	6,966,000円
		2級 278,640円	2,786,400円	5,572,800円
母子年金 (準母子年金)	(1年間皆納で) 13,200円	278,640円	2,786,400円	5,572,800円

(注)年金の額は生活水準や物価に対応して引上げられていきますが、保険料も改訂されます。

## 夢と希望かなえる

## 簡易保険

みなさんの郵便局の簡易保険の積立金の一部が村の行う事業に利用されています。

今までに利用された事業は、災害復旧事業、小学校建設事業、庁舎建設事業と数多く利用され特に本年八月完成された、蓬田中学校校舎及び屋体建設事業は簡易保険から多額の融資を受けています。

簡易保険にご加入になることは

家庭の生活の安定と将来の生活設計のため必要であると同時に住みよい村づくりのため簡易保険を育てよう。



### 当村の拠出年金受給状況

S49年7月末現在

老令年金	65才以上	合計
56件	59件	115件
母子年金	18件	
遺児年金	1件	
寡婦年金	3件	
死亡一時金	1件	
障害年金	1級 8件	2級 4件

十二月十五日

東京神宮外苑 日本青年館で

蓬田中学校

関東地区同窓会開催

父兄、一般村民

出稼ぎ者の参加も歓迎

蓬田中学校は今年で創立二七周年を数える。卒業生総数約四千人この内約三割に当たる千二百人が会社や官公庁職員、あるいは出稼ぎ者として、東京都内や関東各地

で活躍しているものとみられる。

しかし残念ながら、関東地方には同窓会もなく、就職者の消息は充分掌握されていないのが現状である。ところが昨夏と今夏昭和三十年卒業生が同期生会を開催した際、東京でも全卒業生に呼びかけて同窓会を開催しようということになったので、このニュースを『たままつ』という昭和三十年卒業同期生会機関紙にけいさいして全国の同窓生に一千部程郵送したところ、大きな反響を呼び、各地の恩師や同窓生から続々と参加申込みが殺到し、実行委員会は連日テンテコ舞いを演じている。

大会は来たる十二月十五日、東京明治神宮外苑の日本青年館に、蓬中創立当時の学校長故相馬忠蔵氏夫人相馬きく先生をはじめ、多数の来賓、同窓生が参加して盛大に開催されることになっており、その成果が各方面から期待されている。

実行委員会では先ず関東地区に同窓会を結成し、同窓生の親睦と交流を深め、後輩の援護活動などを行ない、間接的に故郷の発展に寄与したいとしている。

そして「全同窓生名簿」を作成するので、全同窓生の住所・氏名・電話番号などを実行委員会へ連絡してくれるよう全村民に呼びかけている。

尚、大会詳細左のとおり

一、大会名・蓬田中学校関東地区

同窓会

第一部、同窓会結成大

会

第二部、交流会、宴会  
一、日時・昭和四十九年十二月十五日(日)午後一時

一、場所・東京都新宿区霞ヶ丘町十一番地  
日本青年館結婚式場

(明治神宮外苑、国立競技場脇)

一、会費・男女共、三千円

一、申込締切・十一月三十日

一、その他・父兄、教職員、在校生、一般村民、出稼者の参加も歓迎。

一、申込先△蓬田村大字蓬田 鈴木象一  
電話(蓬田)一一六番(青森)七七一  
六二〇一番

駐在だより

河川にゴミを捨てないで

公害は、いまや日本列島を覆いつくしたといわれているとおり、県内でも河川、湖、海岸が汚されて公害騒ぎがいたるところで起きています。

河川から流れつく多量の廃物のため魚類の成長がおびやかされ、漁民の操業に支障がおきています。このように、県内各河川、海に廃物を投げ捨てる者があとをたたないで、警察では、河川や海をきれいにし、住みよい郷土にするため河川、海等にゴミを捨てないよう呼びかけるとともに、バトロールを強化することになっています。

す。河川をきれいにし、魚が安心して住めるようにしましょう。河川にゴミを捨てた場合

▲河川法施行令では  
河川に土石、ゴミ、ふん尿、その他の廃物を捨てた者は、三ヶ月以下の懲役、三万円以下の罰金

▲廃棄物の処理及び清掃に関する法律では

ア、市町村のゴミ収集区域内に  
廃棄物(一般家庭のゴミ、事業活動で出来たゴミ)を捨てた者

イ、市町村のゴミ収集区域外の区域内にある河川、運河、湖、沼等に一般廃棄物を捨てた者

ウ、市町村のゴミ収集区域外の区域内に産業廃棄物を捨てた者は、五万円以下の罰金に処せられることになっています

ゴミを捨てないで河川をきれいにしましょう。

村民の皆さん、ゴミ収集車を利用し、河川や他人の空地等にゴミを捨てることを止めましょう。

戸籍の窓口

(市町村名は本籍の表示です)  
◎誕生おめでとうございます。  
(七月受付分)

張 岡 大 介(勇三・長男)

田 中 紀 子(毅・長女)

下 山 亨(嘉幸・二男)  
八 戸 美 穂(行雄・長女)

張 間 覚(敏雄・二男)

村 上 尚 子(富和・長女)

大 坂 美 香(武義・二女)

坂 本 晴 佳(洋一・二女)

広 田 靖 子(俊範・二女)

(八月受付分)

武 井 福 嗣(金治・長男)

福 井 洋 和(武・二男)

越 田 浩 二(博・長男)

堀 奈 津 江(弘美・長女)

細 谷 勝(勝成・長男)

藤 本 由 美 子(滋・二女)

齋 藤 忠 広(忠・長男)

小 松 孝 徳(神童・長男)

越 田 ル ミ 子(長生・長女)

(九月受付分)

張 間 健 吉(博好・長男)

赤 坂 悦 子(勝悦・長女)

青 木 志 恵 子(滋・三女)

飯 田 博 文(瀬辺地)

吉 田 た か 子(群馬県)

(八月受付分)

鈴 井 梅 公(青森市)

大 上 春 逸(青森市)

三 上 妙 子(中沢)

小 柴 勉(千葉県)

田 中 則 子(広瀬)

長 内 春 己(青森市)

川 内 佐 兵 衛(阿弥陀川)

千 田 葉 子(青森市)

前 田 治 基(山梨県)

越 田 美 枝 子(瀬辺地)

木 立 昭 夫(青森市)

藤 本 留 美 子(長科)

吉 崎 純 一(蓬田)

三 浦 裕 見 子(弘前市)

佐 井 正 人(広瀬)

横 山 恵 美 子(碓ヶ関村)

(九月受付分)

沼 田 博 文(中沢)

鳴 沼 正 文(中沢)

福 引 喜 美 雄(中沢)

櫛 木 正 子(秋田県)

青 木 均(阿弥陀川)

内 藤 洋 子(京都府)

森 正 象(阿弥陀川)

岩 見 久 美 子(蟹田町)

(七月受付分)

田 中 昇(瀬辺地)

川 崎 丑 太 郎(広瀬)

張 間 キ ミ(長科)

福 井 り ま(郷沢)

森 倉 一(阿弥陀川)

(八月受付分)

佐 井 吉 松(広瀬)

鈴 木 敏 嗣(阿弥陀川)

武 井 な さ(蓬田)

(九月受付分)